

重大事故対策 – 重大事故時における技術支援と運営支援の組織連携 –



ワーキングの詳細
はこちらから

論点No.139

重大事故時においては、技術支援や運営支援を行う組織が連携して対応していく必要があるが、どのようにして連携するのか。

第19回ワーキング
(2021.9.24) で議論

ワーキングチーム検証結果

重大事故が発生した場合又は発生の恐れがある場合には、災害対策本部長の指揮統括のもと、**運転操作や設備の保守などを行う実施組織と、技術支援や運営支援を行う支援組織が調整・連携を図り対応に当たることを確認。**

ワーキングチーム検証結果（抜粋）

○災害対策本部の活動における指揮命令系統と組織間連携

- 発電所災害対策本部を構成する各組織の主な役割は以下のとおり。

| 組織 | 主な役割 |
|-------------------------|---|
| 本部（本部長以下） | 災害対策本部全体を統括、事故原因除去や災害拡大防止の戦略等を決定する。各組織の統括、各作業班の統括、本部長への進言を行う。 |
| 実施組織 | 主に現場での運転操作、設備の保守、水・電源の供給、消火活動等を実施する。 |
| 支援組織 （技術支援組織、運営支援組織） | 実施組織に対して技術的、環境整備面で支援する。 現場作業の実施方針検討、作業指示、状況把握、現場サポート、本部への報告・進言を行う。 |

- 災害対策にあたっては以下のように指揮命令系統に沿った情報伝達を行い、組織間の連携を行っていく

- ① 【本部】は災害対策の戦略を検討・決定し【支援組織】に指示
- ② 【技術支援組織】は戦略を受けた具体的な作業内容を検討し、【実施組織】と調整
- ③ 【実施組織】は現場で作業を開始。作業状況を【技術支援組織】に伝達。【技術支援組織】は放射線管理等の現場のサポートを行い、【運営支援組織】は情報の集約等を実施
- ④ 【技術支援組織】は本部に作業状況を報告。必要に応じて作業内容の変更等を進言
- ⑤ 【本部】は作業状況を受けて戦略上の変更要否を判断、【支援組織】に再度指示

